

事務事業名		3R啓発事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					担当係	リサイクル推進係	担当課長名	山田弘	
	施策	1 ごみの発生抑制と資源の有効活用					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 3R運動とごみ減量化の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7910	一般	4	2	1	3R啓発事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成9年度～ 年度		根拠法令等	佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		広報・広聴・啓発事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
<p>市民に対し、家庭でのごみ分別において3R(リデュース、リユース、リサイクル)を意識し実践していただくとともに、3Rに関する講座やイベントを通じて、体感・体験の機会を市民に広く提供する。</p> <p>○3R関連啓発イベントの実施・参加等 リメイクフェア、もったいないフェア実施、どまんなかフェスタに参加 ○プラザ業務 市民見学会、小学4年生社会科見学、町会等各種団体による見学受け入れ ○リデュース啓発 「ごみ分別の手引き」「ごみの分け方・出し方」等の作成及び配布と分別排出説明会の実施 ○リユース啓発 市民不用品の情報提供、再生品展示提供、フリーマーケット等のイベント開催 ○リサイクル啓発 廃食油リサイクル啓発(石けん、キャンドルづくり等)事業、</p>	<p>○3R関連啓発イベントの実施・参加等 リメイクフェア、もったいないフェア実施、どまんなかフェスタに参加 ○リサイクルプラザ業務 小学校見学、市民団体等見学会の実施 ○リデュース啓発事業 ごみ分別排出説明会の実施、転入者用「ごみ分別の手引き」の作成・配布、エコッキング11回(延べ102人受講)、マイバッグ作成 ○リユース啓発事業 室内・屋外フリーマーケットの開催、再生品展示提供会の年4回開催 ○リサイクル啓発事業 リサイクル石けんづくり、エコキャンドルづくり、生ごみリサイクル教室</p>					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
視察・見学者の受入者数	人	1,398	1,334	1,850	1,850	1,850
講習会受講者数	人	593	568	720	720	720
イベント来場者数	人	6,979	7,278	7,600	7,600	7,600

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

ごみの減量化とリサイクル意識が向上する。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	講習会受講等によりリサイクル意識が向上した市民/人口	%	7.3	7.5	8.4	8.5	8.6
$\frac{\text{視察・見学者の受入者数} + \text{講習会受講者数} + \text{イベント来場者数}}{\text{人口}}$							

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

ごみ問題が十分に理解され3Rへの取り組みが実践されている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	再生利用率=再生利用量/ごみ排出量	%	15.7	14.2	25.0	27.5	30.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	706	421	640	11,996	768					
	一般財源	千円	1		83	0						
	事業費計(A)	千円	707	421	723	11,996	768					
投入量	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			報償金	300	報償金	310	報償金	360	報償金	650	報償金	400
			消耗品	52	消耗品費	91	消耗品費	62	消耗品費	584	消耗品費	56
			燃料費	18	燃料費	20	燃料費	31	燃料費	37	燃料費	37
			印刷製本費	337			印刷製本費	270	印刷製本費	10,725	印刷製本費	275
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4					
	のべ業務時間	時間	600	600	600	600	600					
人件費	人件費計(B)	千円	2,335	2,365	2,365	2,365	2,365					
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,042	2,786	3,088	14,361	3,133					

B表(事後評価シート)

事務事業名	3R啓発事業	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	担当係	リサイクル推進係
-------	--------	-----	-------	-----	---------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	容器包装リサイクル法の施行により、平成10年4月からよりきめの細かい分別排出が始まった。合併後、平成18年3月にごみの減量と3R推進の拠点施設となるみかもクリーンセンターリサイクルプラザが竣工し、これまでできなかったリユース・リサイクルの具体的な取り組みがはじまっ
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地球温暖化の進行や資源の枯渇見通し等の環境意識の高まりにより、3Rの趣旨に基づくごみ減量の取組みはますます必要なものとなっている。また、リサイクル諸法が制定されているなど地方自治体の担う役割は増大している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	再資源化の可能なごみの更なる分別、再使用の推進、「もったいない」運動について、議会において意見が出されている。レジ袋削減の取り組み等は、市民の意識も高く、市の取り組み姿勢が問われている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	○広報手段の多角化: ホームページの情報量を増やす。新聞やケーブルテレビ等へも適宜情報提供を行っていく。 ○市民参加の促進: 市主導から、市民・市民団体と協働しながら実施、啓発効果の高い市民参加型の講座・イベントを実施する。 ○3R啓発事業としてアピールするために、同じ市民啓発事業である「ごみ分別排出啓発事業」と統合する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	各種啓発事業は、市民生活において3R意識の向上を目的としている。リデュース、リユースが図れ、再生利用量及び再資源化率も増加させることとなり、その結果ごみの減量化にもつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	本事業は、啓発事業なので広く市民、市民団体と協働しながら進めることで、より高い成果が得られる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	3Rの推進は、市民一人ひとりの意識を変えていくことである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	当事業は啓発事業であり情報発信が重要なものであるため、より一層のホームページの充実とケーブルテレビ等のメディアの活用を図る。子供に対する啓発は重要なので、「使い終わったら捨てる」から「使い終わっても何かに使えないか」というように意識が変わっていくよう紙すきやリサイクルキャンドル作りなどのワークショップを通して、その意識の向上を図る。大人に対しては、「もったいない」をテーマにして、再生品展示提供、もったいないフェア、どまんなかフェスタ等のイベントにより3Rを啓発していく。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 ①ごみ減量推進対策、②資源ごみ集団回収報奨金制度、③家庭用生ごみ処理機普及事業 各事業は3Rを推進するとともにごみ減量を意図したものであることから、それぞれの事業と連携したイベントや講習会、講演会等をもっと企画し実施することで相乗効果が図れる。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費は削減され、必要最小限の経費のみの計上であり、啓発パンフレット、グッズ等の作成に新たな経費が必要である。講座やイベント等は、市民、市民団体と協働していくことで、人件費の削減の余地はあり得る。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	再生品の有償提供やエコクッキングでの実費負担はこれまでも行っており、今後も同様とする。フリーマーケットについては、出店者の負担を求める余地があると思われるが出店料が不要のため現在の出店数となっているので、当面は出店料は求めない。リサイクルプラザの使用については現在無料であるが、利用目的によっては、使用料の徴収を検討する余地があると思われる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		ごみが排出される限りは、当然持続していかなければならない事業である。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①ホームページ、ケーブルテレビ等の媒体の活用による情報発信力の強化 ②市民団体との連携を強化し、3R活動の裾野を広げる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>① ②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	① ②		維持		×	低下	×	×	ホームページの充実にあたっては、独自サイトを運営し直接情報を発信していくことが有効であるが、ホームページの更新等の知識・技術が必要となる。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	① ②																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	